

vol.1 R4.7.15号

Diversity

～多様性～

第四次男女共同参画計画における重点事業のひとつである「性の多様性に関する理解の促進」を図るため、市報コラムを掲載する運びとなりました。
■協働推進課 (西内線 242)

“自分らしさ～ジェンダー～”

生

生物学的な性別 (sex) は、身体の違いのみを表す言葉であることにに対し、ジェンダー (gender) は、社会的・文化的に作り出された性別を表す言葉です。

つまりジェンダーというのは、その性別に生まれたことによる特性ではなく、女性らしさや男性らしさのように文化・社会の中で後付けされた性的なことです。

例えば、「男は仕事、女は家事・育児」、「男は青、女は赤」、「プロポーズは男からするのが当たり前!」、「料理上手だからいい奥さんになれるね!」といった認識のことです。

これらは、テレビや幼少期から関わってきた大人から、気づかぬうちに【男らしさ、女らしさ】を教えられてきた影響が大きく、自分の意志や性格とは関係なく備わるものです。

近頃、男性の俳優さんやタレントさんが、料理や洗濯洗剤のCMで出ていることが多いと思いませんか? 「そういえば、そうだな…」と思われたかたは、そのCM-ソシャルを見て、どう思いましたか?

- ①全く違和感を持たない
- ②企業がジェンダーフリーをPRしている
- ③料理も洗濯も、女性がやることだから、違和感がある

心地良いと思う感覚や好きな事は、性別に関係なくそれぞれ違います。市では、ひとりでも多くのかたに、「男らしさ・女らしさという固定概念は、おかしなよね。」と、考えていただける環境を造り、【自分らしさ】を大切にし、お互いの個性を尊重しあえる社会を実現したいと思っています。

次回は、9月15日に掲載予定です。

vol.2 R4.9.15号

Diversity

～多様性～

第四次男女共同参画計画における重点事業のひとつである「性の多様性に関する理解の促進」を図るため、15日号に市報コラムを掲載しています。
■協働推進課 (西内線 242)

“炊き立ての白いご飯～多数派と少数派～”

炊

きたての白いご飯、夏休みに見る打ち上げ花火、満開の桜並木…皆さまにアンケートをしたら、これらを「好きな人」は多数派、「好きではない人」は少数派となるかもしれません。

自分が少数派になった時、不安になって「少数派であること」を隠してしまった経験はありませんか?

その背景には、多数派を「普通」と捉え、少数派を否定 (差別や偏見) してしまうことがあるからだと思います。

【SOGI】という単語をご存知でしょうか?
【SO】は性的指向 (Sexual Orientation) の略称で、恋愛感情や性的関心がどの性別の人を対象にしているかということです。
【GI】は性自認 (Gender Identity) の略称で、自分の性をどう認識しているかということです。

つまり、【SOGI】という言葉は、全ての人に問われる概念です。異性を恋愛の対象とする人は多数派で、同性あるいは両性を恋愛の対象とする人や誰も対象にならない人は少数派。

生まれた時に割り当てられた性と心の性が一致している人は多数派で、一致しない人は少数派。

数の違いはあるけれど、それぞれが尊重されるべき存在なのです。私たちは、子どもの頃に「人は見かけで判断してはいけない」、「差別や偏見はダメなこと」と習ってきたはずなのに、いつの間にか「女性とは」「男性とは」という固定概念が備わっていませんか?

差別や偏見 (否定) に溢れた環境が、固定概念を生み育てたのだと思います。

市では、お互いを尊重し、決して否定 (差別や偏見) しない環境が「当たり前」である社会を実現したいと思っています。

次回は、11月15日に掲載予定です。

vol.3 R4.11.15号

Diversity

～多様性～

第四次男女共同参画計画における重点事業のひとつである「性の多様性に関する理解の促進」を図るため、15日号に市報コラムを掲載しています。
■協働推進課 (西内線 242)

“不法行為～カミングアウトとアウトティング～”

某

大学で起きた事件をご存じでしょうか?
2015年、当時学生だったAさんが、同性であるBさんに好意があることを告白しました。

Aさんは、自分の性的指向について、Bさんが第三者へアウトティングをしたことをきっかけに、自ら命を絶ちました。

その後、遺族側がBさんと大学を相手にした裁判において、「本件アウトティングは、Aさんがそれまで秘してきた同性愛者であることをその意に反して同級生に暴露するものであるから、Aさんの人格ないしプライバシー権などを著しく侵害するものであって、許されない行為であることは明らかである。」と、アウトティングが【不法行為】に当たると明言されました。

この事件を機に、大学が所在する自治体では、アウトティング禁止を盛り込んだ条例が施行されています。

性的指向・性自認に関連して、差別的な言動や嘲笑、いじめや暴力等の精神的・肉体的な嫌がらせをすることや、望まない性別での生活の強要、不当な異動や解雇をすることなど、SOGIハラ (スメント) といえます。

また、他人が、本人の同意なく、その性的指向や性自認を洩らす「アウトティング」についても【SOGIハラ (スメント)】に当たります。

「同性愛なんて、テレビじゃあるまいし…」
「男のくせに、女の服を着るなんて変!」
「女なんだから、男みたいな話し方をしてはいけません!」
…といった話しをしたことはありませんか? それは【SOGIハラ (スメント)】です。

自分にとっての「普通」は、他人にとっても「普通」である…とは限りません。市では、自分自身の個性も他人の個性も尊重しあえる社会を実現したいと思っています。

次回は、1月15日に掲載予定です。

vol.4 R5.1.15号

Diversity

～多様性～

第四次男女共同参画計画における重点事業のひとつである「性の多様性に関する理解の促進」を図るため、15日号に市報コラムを掲載しています。
■協働推進課 (西内線 242)

“セクシュアル・マイノリティ (性的少数者)”

セ

セクシュアル・マイノリティ (性的少数者) を表すときに、「LGBTQ」という言葉が用いられることがあります。

- ◆L…レズビアン。女性同性愛者 (心の性が女性で、恋愛対象も女性の人)
- ◆G…ゲイ。男性同性愛者 (心の性が男性で、恋愛対象も男性の人)
- ◆B…バイセクシュアル。両性愛者 (恋愛対象が、女性にも男性にも向く人)
- ◆T…トランスジェンダー。出生時の身体の性と心の性が一致せず違和感を持つ人
- ◆Q…クエスチョニング等。性がわからない人。定めていない人。

「セクシュアル・マイノリティは特殊な存在である。」と考えているかたは、これらの言葉に違和感を感じるかもしれません。

しかし、セクシュアル・マイノリティは、決して特殊な存在ではありません。その存在に気が付かない又は気が付かないだけなのです。

人は、誰もが「その人らしい、それぞれ違う個性」を持っていますが、特に、大人と比べて、正しい情報を得たり当事者同士の交流を機会が少ない若年層のセクシュアル・マイノリティは、「家族や友達に知られたらどうしよう!」、「自分は周りと違うように感じるけれども、どうしたら良いのかわからない…」といった不安を抱えながら生活している方もいらっしゃいます。

市では、多摩地域の複数の自治体と連携し、【若年層セクシュアル・マイノリティ支援事業】を行っています。

【情報づくり】
おむね10歳～23歳のセクシュアル・マイノリティのかた (かもしれないかたを含む) を対象とした交流の場の創出

【教育関係事業】
当事者へのエンパワーメント (組織を構成する一人一人が、本来持っている力を発揮し、自らの意思決定により、自発的に行動できるようにすること) や多様性理解の促進を目的とした、多様性に関する授業や研修を実施

市では、誰もが自分らしくイキいきと暮らせるまちを実現したいと思っています。

次回は、3月15日に掲載予定です。

vol.5 R5.3.15号

Diversity

～多様性～

第四次男女共同参画計画における重点事業のひとつである「性の多様性に関する理解の促進」を図るため、15日号に市報コラムを掲載しています。
■協働推進課 (西内線 242)

“武蔵村山市が目指すまちづくり”

本

本が平成30年に実施した市民意識調査では、性自認や性的指向で悩んだ経験があると回答されたかたは、84%でした。

また、平成28年度に日本労働組合総連合会が実施した「LGBTに関する職場の意識調査」では、セクシュアル・マイノリティは8.0%という結果であり、令和元年度に大阪府が実施した「大阪府民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」では、約3～8%がセクシュアル・マイノリティという結果が発表されています。

実は、日本人のうち、左利きのかたや血液型がAB型のかたの割合と、大きな差がないのです。

皆さまは、家族・友人・学校・職場に、セクシュアル・マイノリティのかたがいることを想定できていますか?

令和元年度に厚生労働省が実施した「職場におけるダイバーシティ推進事業調査」によると、【いまの職場の誰か一人にでも、自身がセクシュアル・マイノリティであることを伝えているか】という問いに対し、8割を超える当事者が【伝えている】と回答しています。

周りには、【カミングアウトしていないセクシュアル・マイノリティ】、【気づかれないセクシュアル・マイノリティ】がいっぱいいるかもしれないのです。身近な人が、誰にも打ち明けられず、苦しい思いをしているとしたら、ご自身も苦しい気持ちになると思います。

令和4年度に市が実施した「性の多様性についてのアンケート」では、【社会全体における性の多様性について、理解は進んでいると思いますか?】という質問に、約51%のかたが【(多少)進んでいる】、約42%のかたが【(あまり)進んでいない】と回答されました。

多様性を尊重し合える社会の実現には、まだ時間が必要なのかもしれません。

多くのセクシュアル・マイノリティのかたは、特別なことを期待してはいるのではなく、多数派も少数派も分け隔てなく同じように過ごせる環境になることを望んでいるのだと思います。

生まれた時に割り当てられた性別や自認する性別、外見による性別、好きになる性別に関係なく、お互いの個性を尊重し合える環境を、市では、多様性を尊重し合えるまちづくりを目指してまいります。

本コラムの連載は、今回で終了となります。ご愛読ありがとうございました。

R5.5.15号

Diversity

～多様性～

【クイズ】
日本のセクシュアル・マイノリティ (性的少数者) の割合に近いものはどれでしょうか?
① 1%未満 ② 約4～6% ③ 約8～10%
正解は4ページへ

R5.5.15号

Diversity

～多様性～

【クイズ】
さまざまな調査結果を総合的に分析すると、日本のセクシュアル・マイノリティの割合は約8～10%といわれています。左利きの日本人は約11%、血液型がABの日本人は約10%といわれていることから、おおむね割合であると考えられています。本市が平成30年に実施した市民意識調査では、性自認や性的指向で悩んだ経験があると回答されたかたは、約84%でした。
この答えを見て、あなたはどのくらい感じましたか?
① 多いと感じた ② 少ないと感じた ③ どちらとも思えない ④ 知っていた
■協働推進課 (西内線 242)

R5.7.15号

Diversity

～多様性～

【クイズ】
「平等」
どのような性別でも「正解」です!
好きな色や好きな事は、性別によるものではありません。
黄色よりピンク色が好き
サッカーより手芸が好き
昆虫よりおしゃべりが好き
お答えいただいたかたの中から抽選で20名様にボールペン・手帳セットをプレゼントします。
【クイズ】
市内の中学校では、女子生徒がスタッフの体験を募集することができます。
お答えいただいたかたの中から抽選で20名様にボールペン・手帳セットをプレゼントします。
■協働推進課 (西内線 242)

R5.7.15号

Diversity

～多様性～

【クイズ】
「問題」
次の言葉からイメージするのは、男の子ですか? 女の子ですか?
① 黄色よりピンク色が好き ② サッカーより手芸が好き ③ 昆虫よりおしゃべりが好き
正解は6ページへ